

2025 年度 第 3 回 公立大学法人埼玉県立大学理事会 議事録

日 時 2025 年 7 月 28 日(月)10:00～11:00

会 場 本部棟大会議室(オンライン併用開催)

出席委員 田中理事長、林副理事長、犬飼理事、金村理事、岡島理事、戸所理事、佐野監事、中野監事

出席教職員 田中副学長兼学部長、常盤学長補佐、長岡副局長、新井調整幹兼総務担当部長、篠原企画・情報担当部長、富田学生・就職支援担当部長
【オンライン】
横山研究科長、濱口研究開発センター長、北畠情報センター長、田口学生支援センター長、善生専門職連携教育研修センター長、上原地域連携センター長、滑川保健センター長、竹島共通教育科長、國澤看護学科長、今北理学療法学科長、臼倉作業療法学科長、小澤社会福祉子ども学科長、植野健康開発学科長、山口高等教育開発センター副センター長、村井研究開発センター副センター長、出井財務担当部長、甲田施設管理担当部長、中野研究・地域連携担当部長、根本教務・入試担当部長

議 事 概 要 ○:学外理事、監事 ●:学内理事、事務局

【議事録確認】

田中理事長から前回の議事録が提示され、確認された。

【議決事項】

第 8 号議案 教員の採用について

資料に基づき、林学長から説明した。案のとおり、異議なく議決された。

主な発言は以下のとおり

○教員公募の要件が厳しいのではないかと。例えば、今回の資料を見ると口腔保健科学専攻の教員の公募について、なかなか見つからないと思う。要件についての考え方を他大学との比較でわかれば教えてほしい。また、この口腔保健科学専攻の教員について採用の見

通しはあるのかを教えてほしい。

●学問領域ごとの差異はあるが、同じ学問領域間においては他大学の要件もおおむね同程度であると把握している。また、口腔保健科学専攻の欠員については、以前欠員の補充についてご指摘いただいたことを踏まえ、1度要件の見直しを行ったところである。現在、8月末の応募締切としているが、候補者がいそうという話は聞いている。

○今年度の教育について支障はないのか。

●支障はない。常勤の教員のフォロー、非常勤の実習助手を採用、退職した教員に非常勤講師を依頼するなどし、対応している。

【報告事項】

(1)2026年度大学院博士後期課程学内推薦特別選抜の結果について
資料に基づき、根本教務・入試担当部長から報告した。

主な発言は以下のとおり

○過去の大学院入試においては、あまり定員にこだわらずに採用していた記憶がある。今年も9月に一般入試が予定されているとのことだが、受験者の成績によって合格者数の枠が変動する可能性はあるのか。

●以前までは、希望する学生に対しては、可能な限り入学の機会を提供するよう努めてきた。しかしながら、本学では、2年間の博士前期課程を最大4年、3年間の博士後期課程を最大6年まで延長することが可能であるため、在籍期間の長期化に伴い、学生の総数や教員の指導体制に影響が生じている。したがって、合格者の定員については、これらの点を総合的に考慮した上で、慎重に検討する必要があると考えている。

○承知した。これは感想ではあるが、今後の大学院の永続性等を考えると、各年度の合格者数があまり変動しないようにすることが重要だと思う。

○大学院の入学者については、学内からの進学者を優先しているのか、それとも他大学出身者へも広く門戸を開いているのか。過去の経緯や人数と併せて教えてほしい。

●大学院設立当初は他大学からの進学者が多かったが、年を追うごとに本学からの進学者も増加している。今年度の入学者については、博士前期課程では全37名のうち、本学からの進学者が21名、他大学からの進学者が16名である。また、博士後期課程では全8名

のうち、本学からの進学者が 5 名、他大学からの進学者が 3 名である。
なお、入試においては、どちらかを優先することはなく、平等に選考を行っている。

(2) 学生調査(卒業・修了時)の結果について
資料に基づき、企画・情報担当 芦沢主任から報告した。

主な発言は以下のとおり

- 「授業の内容が高度すぎる」と回答した生徒が過去2年と比較すると特出して高い。母数が少ないことが影響しているのかもしれないが、理由がわかったら教えてほしい。次に、ボランティア活動への参加の有無を聞く質問に対し、7割近くが「参加していない」と回答しているが、本学としてはどういったことを想定しているのか教えてほしい。最後に感想として、本学の特色である学生担任制度がかなり高い満足度となっている点は本学の目標にあった結果だと感じた。
- 「授業の内容が高度すぎる」という回答の詳細な理由は把握できていない。しかしながら、学科ごとでの傾向はあるので、結果を各学科にフィードバックし、分析を進めていただきたいと考えている。次にボランティア活動の質問項目について、ボランティア活動の明確な定義は設けていないが、学内行事やアルバイト以外の活動で、というイメージである。ボランティアに関する情報は「地域活動プラットフォーム」を通じて学生向けに発信している。
- まず2点評価したい点がある。1点目は「就職に関する相談を主に誰にしたか」という質問で、「キャリアカウンセラー」を選択する学生が年々増加していること及び「学生担任教員」や「ゼミ担当教員」を選択する学生が例年多いことである。2点目は「大学生活を通じて、知識・能力や人間性といった面で成長したとを感じるか」という質問に対し、75%以上が「実感している」と回答したことである。これはかなり高い数字であり、素晴らしい結果だと思う。
次に気になる点についてだが、「就職先を決めた主な要因」で「OB・OG の存在」を選んでいる学生が年々減少している点がある。また、「就職先の情報を何から得たか」で「OB・OG からの紹介」を選んでいる学生も同様である。今後、卒業生と大学との関係を強くしていきたいという考えもあったと思うが、この点についての考えを教えてほしい。
- 卒業生との関係づくりは大変重要と考えている。例えば、各学科・専攻で行う就活スタートゼミなどに県内の各病院・施設で活躍している卒業生にお越しいただいてお話をいただいたり、在学生との交流会に参加いただくなどの取組を行っている。また、事務局にもOB・

OGのリストを備えており、学生から希望があった際にはこういった病院のこういった部署にOB・OGの方がいるので連絡をしてみたらどうか、という紹介を行うこともある。今後とも「OB・OG」関連の数値が向上するように努力をしてまいりたい。

○就職後2年目、3年目の方の生の意見は大変貴重だと思うので、OB・OGがどこにいるのかという情報を積極的に出し、在学生にPRすると良いと思う。

○「自主的な学習への取り組み時間」についての設問があるが、この「自主的な学習」とは授業の課題やレポート作成の時間は含まれないという理解でよい。週5時間以内が70%程度いることが気になる。

●資料に示しているままの選択肢としており、詳細な定義を学生に伝えている訳ではないが、自主的な学習としており、授業の課題やレポート作成の時間は含まれないと考えている。ご指摘のとおり自主的な学習時間が徐々に短くなっている状況である。理由については明確には把握できていないが、実習や授業の課題に時間が割かれているのではないかと考えている。自主的な学習時間の短縮が授業の満足度や国家試験の合格率に反映されている状態ではないと見受けられるため、今後とも経過を注視していく。

○これは要望であるが、県外就職者に県外での就職を選んだ理由を聞く設問において「とくに埼玉県内・県外を意識して就活したわけではない」を選択した学生が35%程度いるが、本学が県立大学である点を考えるとやはり県内に就職してほしいという気持ちがある。もちろん強制はできないが、学生の中にそういった意識付けができると良いと思う。

●現状も県内就職率の向上に向けた取組は行っているが、より学生に効果的なPRの方法を検討していく。

○県内に就職されたOB・OGの方の話を聞いてもらうことも良いのではないかと思います。

●低学年のうちから県内病院で働いている方にお話しいただく場を授業内で設けるなどの取組は現在でも行っているため、学生の意識の中にも多少入っているとは思われるが、今後ともPRの方法は検討していきたい。

○学生担任制度への満足度は高いようだが、年度内に学生担任とやりとりをした回数に0回と回答している学生が15%程度いるようである。この「やりとり」とは1回以上行わなければいけないものか。もしそうであるならば、なぜ0回との回答となっているのか。

●本学では学生担任制度に関する規程を設けており、担任する学生の就学進路上、あるいは学生生活上等の問題について、担任から助言指導を行うこととしている。各学科・専攻には学生担任から少なくとも前期1回・後期1回の助言指導の機会を設けるよう依頼しており、実際に実施しているとの報告を受けている。しかしながら、アンケート結果として0回という回答がでてきているので、学生支援委員会でアンケート結果を共有し、実態を確認したいと考えている。

○このアンケート結果を用いて授業内容や生徒への対応の仕方を改善するといった取組は行われているのか。

●学科・専攻別の詳しい結果を各学科・専攻にフィードバックをし、各学科・専攻で学生指導や授業に反映いただくこととしている。また、結果のいくつかは業績評価指標として大学の運営状況を確認するための指標として使用している。

○1年後で構わないので、理事会の場でアンケートの結果から何をどう改善したのかの具体例を報告してほしい。

●承知した。

以上